

別紙2様式第1号（共通）（第4の1関係）

○年度畜産生産力・生産体制強化対策事業実施計画書
（繁殖肥育一貫経営等育成支援）

1 事業の種類

--

（注）要綱別表1の「事業内容」を記載すること。

2 事業の目的（変更理由）

--

3 事業実施方針

--

（注）事業実施に当たっての基本的な方針、業務推進体制等を記載すること。

4 総括表

事業内容	事業費	負担区分		備考
		国庫補助金	事業実施主体	
	円	円	円	

（注）事業内容欄は、要綱別表1の「事業内容」ごとに、実施する取組の内容を具体的に記載すること。

5 取組により期待される効果（成果目標）

成果目標	検証方法	事業実施効果
現 状 値：（ 年度）		
目 標 値：（ 年度）		

（注） 1 成果目標の欄は、定量的な指標を設定すること。
2 検証方法の欄は、目標値を具体的に検証する手法を記載すること。

6 事業実施予定期間

年 月 日 ～ 年 月 日

別添 1－①

○年度畜産生産力・生産体制強化対策事業実施計画書
(肥育期間の短縮・出荷月齢の早期化に向けた取組支援)

1 早期出荷の全国普及推進

(1) 早期出荷に適した子牛の哺育・育成マニュアルの策定計画（又は実績）

時期	場所	参集範囲	取組内容	備考

(注) マニュアル策定にあたり必要となる検討委員会、現地検討会、普及活動等の実施計画（又は実績）を記載すること。

2 早期出荷コンソーシアムによる実証支援

(1) 早期出荷コンソーシアムの概要

No.	コンソーシアム名	実証地域	実証期間	取組内容	備考
1					
2					
3					

(2) 早期出荷コンソーシアムの設立・検討会の開催、先行事例調査の実施計画（又は実績）

No.	コンソーシアム名	実施時期	取組内容	補助金額 (千円)	備考
1					
2					
3					
合計					

(3) 早期出荷に供する子牛・肥育牛の計画（又は実績）

No.	コンソーシアム名	実証頭数 (頭)	奨励金額 (千円)	備考
1				
2				
3				
合計				

3 その他

(1) 環境負荷低減に向けた取組強化

- ・早期出荷コンソーシアムにおいて実証に参加する構成員から「みどりのチェックシート（畜産）」又は「環境負荷軽減のクロスコンプライアンス チェックシート」を徴収し、その内容を確認した場合は、右の□に✓を記入

☐

(2) 厚生年金及び健康保険への加入状況

- ・早期出荷コンソーシアムにおいて実証に参加する畜産経営体の加入状況について確認した場合は、右の□に✓を記入（法人のみ）

☐

(3) 配合飼料価格安定制度への加入状況

- ・早期出荷コンソーシアムにおいて実証に参加する畜産経営体の加入状況について確認した場合は、右の□に✓を記入

☐

4 添付資料

- (1) 早期出荷コンソーシアムが法人の場合は定款の写しを、任意集団の場合は組織規約等の写しを添付すること。
- (2) 事業実績報告書を提出する際は、早期出荷コンソーシアムが作成した別添Aの「早期出荷実証計画」を添付すること。
- (3) 達成状況報告書（別記様式1号）を提出する際は、「計画」を「実績」に改めた上、1及び2については、計画と実績が比較できるよう、2段書きにする（上段に計画を括弧書きし、下段に実績を記入すること。なお、(1)の添付資料は不要とする。

※3の(1)～(3)は、実績報告書の提出時のみ記入すること。

※3の(2)は、早期出荷コンソーシアムにおいて実証に参加する畜産経営体に法人がない場合は削除すること。

別添 1－②

○年度畜産生産力・生産体制強化対策事業実施計画書
(繁殖肥育一貫経営への円滑な移行対策)

1 繁殖用交雑種雌牛の導入計画

No	取組主体名称	導入頭数 (頭)	奨励金額 (千円)	備考
1				
2				
3				
4				
合計				

注意 1 導入頭数は、実頭数（牛の個体数）を記載すること。

2 奨励金額は、15 千円／頭以内とすること。

2 和牛受精卵移植の実施計画

No	取組主体名称	移植頭数 (頭)	事業費 (千円)	補助額 (千円)	備考
1					
2					
3					
4					
合計					

注意 1 移植頭数は、実頭数（牛個体数）を記載すること。

2 補助額は、牛個体毎に 7 万円／頭を上限とすること。（補助率は 1／2 以内）

3 導入した受精卵は事業年度内に移植する必要があることに留意すること。

3 その他

(1) 環境負荷低減に向けた取組強化

- ・全ての取組主体から「みどりのチェックシート（畜産）」又は「環境負荷軽減のクロスコンプライアンス チェックシート」を徴収し、その内容を確認した場合は、右の□に✓を記入

☐

(2) 厚生年金及び健康保険への加入状況

- ・すべての取組主体の加入状況について確認した場合は、右の□に✓を記入（法人のみ）

☐

(3) 配合飼料価格安定制度への加入状況

- ・ 全ての取組主体の加入状況について確認した場合は、右の□に✓を記入

☐

※3の(2)は、取組主体に法人がない場合は削除すること。

4 添付資料等

- (1) 取組主体が法人の場合は定款の写しを、任意集団の場合は組織規約等の写しを添付すること。
- (2) 取組主体毎に別添Bの「繁殖肥育一貫経営への移行計画」を作成し、添付すること。
- (3) 達成状況報告書(別記様式1号)を提出する際は以下のとおり対応すること。
 - ① 「計画」を「実績」に改めた上、1及び2については、計画と実績が比較できるよう、2段書きにする(上段に計画を括弧書きし、下段に実績を記入する)こと。なお、(1)及び(2)の添付資料は不要とする。
 - ② 別添Cの「繁殖肥育一貫経営への円滑な移行対策実績書」を取組主体毎に作成し、添付すること。

別添B

繁殖肥育一貫経営への移行計画
(繁殖肥育一貫経営への円滑な移行対策)

取組主体名称：

品 種	繁殖雌牛 の 区 分	飼 養 頭 数					備 考
		現 状	計 画				
		○年度末	○年度末	○年度末	○年度末	○年度末	
和牛 (〇〇)	成 牛 育 成 牛 子 牛						
	計						
交 雑 種	成 牛 育 成 牛 子 牛						
	計						

(注) 1 本様式は取組主体毎に作成し、事業実施計画書（別紙2様式1号）に添付すること。

2 また、事業評価報告書（別記様式2号）を提出する際は、計画と実績が比較できるよう、2段書きにする（上段に計画を括弧書きし、下段に実績を記入する）こと。